

平成26年12月25日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 総務部長 安藤 幸司  
(TEL. 052-446-6100)

## アシッドポンプ拮抗薬の日本における特許査定のお知らせ

アシッドポンプ拮抗薬の用途に関して当社が出願しておりました特許（出願番号2013-094888）は、これまで審査中でありましたが、この度、日本で特許査定<sup>\*</sup>を受けましたのでお知らせいたします。

今回の特許査定により、当社が創出したアシッドポンプ拮抗薬を含む化合物群に対して、消化管運動異常が関与する疾患の消化管機能調整剤、または消化管運動賦活化剤に関する権利が認められ、米国に続き、日本における当社の知的財産権がさらに強化されることとなりました。

アシッドポンプ拮抗薬は、胃食道逆流症（GERD）治療薬として現在の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかにかつ持続的に胃酸分泌を抑制できる薬です。したがって、PPIでは十分に胃食道逆流症の症状が改善されなかった場合でも改善効果が期待されます。また、消化性潰瘍などの他の胃酸分泌関連消化器疾患の治療薬となる可能性があります。

当社は平成22年9月にCJ第一製糖株式会社（現：CJヘルスケア株式会社、本社：韓国ソウル市、社長：郭 達源）とアシッドポンプ拮抗薬について東アジア地域を対象にライセンス契約を締結し、平成26年11月には新たに東南アジアを対象としたライセンス契約を締結しております。本剤は、現在、韓国において第Ⅱ相臨床試験の投与が終了し、詳細な解析を進めるとともに、第Ⅲ相臨床試験を準備中です。

当社は、今後も引き続き、アシッドポンプ拮抗薬の他の国々での知的財産の強化に注力するとともに、グローバルなライセンス活動を継続してまいります。

なお、本特許査定により、当社が平成26年12月16日に公表した平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）に変更を要する影響はありません。

以 上

&lt;ご参考&gt;

### 【特許査定について】

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。